三菱造船所 旧木型場（史料館）（指定番号：第 13 号）

写真提供：三菱重工業㈱長崎造船所

所在地：長崎市飽の浦町９ほか２筆

概　要：鋳型製造のための木型場として建築された長崎造船所に現存する最古の工場建築物。1985 年、木型場は史料館として改装され、日本最古の工作機械（長崎製鉄所建設時の 1857 年にオランダから輸入した「竪削盤」）等、長崎造船所の歴史を物語る品々を展示。

＜建　築　年＞1898 年（明治 31 年）

＜指定範囲＞Ａ＝3,618.14 ㎡

＜仕　様　等＞・木骨煉瓦造２階建（イギリス積み）

・屋根…切妻造、桟瓦葺

・設計者　堀江豊吉

指定理由：

・明治 31 年に建設された長崎造船所内で最も古い建築物であり、現在は三菱の歴史を物語る史料館として活用されている。

・屋根を支える小屋組みのトラスが特徴的な二階建て煉瓦造りの建築物である。

その他：2011 第 17 回長崎市都市景観賞「歴史のある部門」受賞

世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産